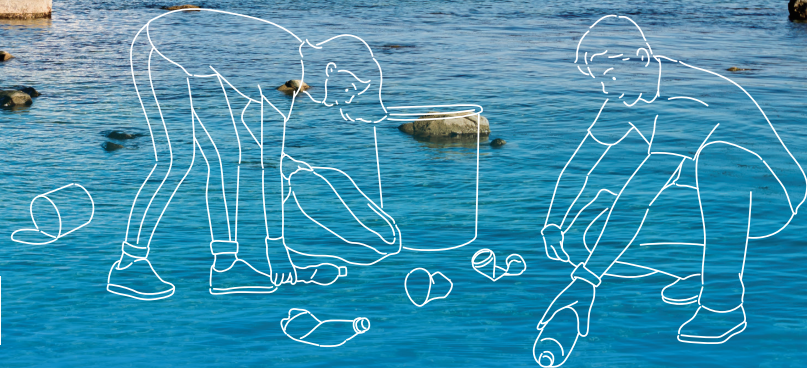


海でつながる日本と中国、そして未来。



日中未来創発ワークショップ in 沼津

海の未来を考える

日中両国の学生が日本と中国の未来に視点をおき、さまざまな協力の可能性について考える交流型のワークショッププログラムです。専門家の講義、実地体験、対話などの各プログラムを通じて、お互いの考え方や立場に目を向け理解を深めることを目指します。今回のテーマは「海のプラスチックごみ問題」です。一緒に海の未来を考えてみませんか？

開催場所 沼津御用邸記念公園 東附属邸学問所
〒410-0822 静岡県沼津市下香貫島郷2802-1
※東京駅 (or新横浜駅) ↔ 三島駅 交通費支給

日程 2023年6月17日(土)

募集人数 日本人学生・中国人留学生 計30名程度
※応募者多数の場合抽選となります。

申込締切 2023年6月5日(月) 正午

主催 公益財団法人笹川平和財団 笹川日中友好基金

協力 茶話日和、京論壇、日本科学協会

日中未来創発ワークショップ事務局

お問い合わせ先 Email : nicchu5157@spf.or.jp



※写真はイメージです

お申し込みはこちらから▶

タイムスケジュール

8:30 東京駅集合
9:40 三島駅集合(現地集合の場合)

第1部 海岸清掃活動体験

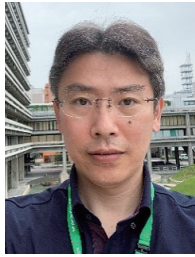
10:30 牛臥海岸

第2部 ワークショップ

11:10 沼津御用邸記念公園
CHANGE FOR THE BLUE カードゲーム
12:30 ランチ
13:30 講義「海のゴミ問題」(講師:塩入 同)
グループ対話と発表
17:00 終了
17:30 三島駅へ移動・解散

日中未来創発ワークショップ

日中で海の未来を考える



講師

塩入 同 (しおいり とも)

水産庁水産大学校卒、神奈川県職員として砂浜・沿岸域管理を担当。日本大学大学院理工学研究科博士後期課程修了(博士(工学))。笹川平和財団海洋政策研究所にて海洋ごみ研究を担う。G7ハリファックス環境・海洋大臣会合の政府派遣専門家。

現在、日本財団海洋事業部シニア・オフィサーとして、包括的海洋ごみ対策：日本財団・瀬戸内オーシャンズ X の運営と研究を統括。著作に、海洋白書 2019 巻頭特集「なぜプラスチックが海の問題なのか」等。



ファシリテーター

石川 千里 (いしかわ ちさと)

北欧系企業に勤務する傍ら、「社会問題」に取り組む体験型ビジネスカードゲームのファシリテーターをライフワークとする。環境問題への取り組みとして海岸掃除を主に行っているが、環境問題に取り組むことが経済発展につながる仕組み作りを模索中。海ごみ問題を考えるビジネスカードゲーム『CHNAGE FOR THE BLUE』をお楽しみください。



ファシリテーター

山田 典史 (やまだ のりふみ)

北京BC学院 特任教員

中国・北京市を中心に日本人留学生と中国人大学生の交流事業の企画運営に20年以上の実績を有する。昨年の日中未来創発ワークショップには企画アドバイザーとして参加、ワークショップ当日は総合司会を担当。



司会

高橋 恵子 (たかはし けいこ)

元中国国際放送局アナウンサー

静岡県沼津市生まれ。静岡大学在学中からNHK静岡でラジオ番組を担当。大学卒業後、群馬テレビ入社。押阪忍事務所を経てフリーアナウンサーに。93年～95年、2011年～17年中国国際放送局(北京放送)で招聘外国人専門家として勤務。

What is CHANGE FOR THE BLUE?

CHANGE FOR THE BLUE
カードゲーム



「CHANGE FOR THE BLUE」カードゲームは海洋ごみ問題について考えるゲーム型のアクティブラーニング学習教材です。海のごみや汚れを減らす行動のシミュレーションを通して海洋ごみ問題について考えるきっかけとしてもらえるように開発されたゲームです。ワークショップでも参加者でプレイし、海洋ごみ問題について考えていきます。

公益財団法人笹川平和財団 笹川日中友好基金

1989年に設立された日中間最大規模の民間基金。日中両国民の相互理解促進、人を育て、協力を重ね、未来を創る方針のもと、政治家交流、防衛交流、学術交流、人材育成、日本語教育支援など幅広い活動を展開している。

沼津御用邸記念公園 東附属邸学問所

今回会場となる沼津御用邸記念公園は、1969年(昭和44年)に沼津御用邸が廃止されたのち、沼津市に無償貸与され、昭和45年に「沼津御用邸記念公園」として開園しました。

東附属邸学問所は、かつての御学問所としての歴史を引き継ぎ、文化・教養活動の拠点として改修・整備されたものです。



Access 〒410-0822 静岡県沼津市下香貫島郷 2802-1

